



あしや動物愛護だより

芦屋動物愛護協会 Ashiya Society for the Prevention of Cruelty to Animals

2020年
(令和2年)

秋



トイプードルのダロス君（13才）と飼い主の田中さん

講座「ペットと共に生きる高齢化社会」 ～ずっと一緒にいたいから～

2020年1月25日、市民センター102号会議室にて、芦屋バティーズ代表の竹田佳子さんを講師にお迎えして上記講座を開催しました。この講座には多くの反響があり、高齢時代を迎えつつある世代にとってペットとの行く末に非常に関心が高いという事がわかりました。



高齢者にとってペットの飼育は、世話をすることにより生活のリズムが整う、散歩によって体力や健康の維持につながる、近隣住民との交流ができる、何より命あるものとの暮らしが心の支えになり癒される等、良い面がたくさんあり多めに推奨されることもあります。

しかし人もペットも共に寿命が延びており、高齢の飼い主とペット双方の介護問題や、飼い主の体調悪化や緊急入院、施設入所、時に

は死亡によりペットが取り残される、などの問題も発生しています。実際にここ数年、高齢になってペットの世話が出来なくなった飼い主が自ら動物愛護センターへ持ち込むというケースが増えている、という現実があるのです。

ペットの命を預かる飼い主の当然の責任として、ペットの世話ができなくなった時の対応策を事前に考えておく必要に迫られています。

そこで、いざという時のために 今やっておくべきことは…

- ①一時的な預かり先を確保しておく
- ②かかりつけの動物病院をもつ
- ③ペットシッターやペットホテルを調べ、時々利用して慣らしておく
- ④ペットの健康手帳を作って、わかりやすい所に置いておく
- ⑤留守宅にペットが取り残されている事を示すカードを常に財布の中に入れておく
- ⑦常日頃から基本的なしつけ、必要な予防接種などしておく

飼い主の緊急入院などの場合、取り急ぎ誰かにペットの世話を頼まなければならない、そのような場合に伝えてもらえる人、または場所を準備しておかなければなりません。その際になじみのペットシッターやペットホテルとの繋がりなどもあれば、とりあえずはペットの心配をせずに済むと思います。

飼い主が意識を失って倒れたりする場合も想定して、ペットが家にいることを伝える「SOSカード」を常に所持（飼い主の健康保険証と一緒に）しておくこと、それに加えて、ペットの

詳しい情報は「健康手帳」に記入して冷蔵庫など誰にでもわかりやすいところに保管しておくといいでしょう。



さて、飼い主としては長期の入院、介護施設への入所、あるいは死亡など、万が一の場合にも備えておかなければなりません。飼い主による飼育が不可能になった時にはどうすれば良いのでしょうか。



A. 老犬老猫ホームにペットを預ける

老犬ホームにもいろいろな形態があり、その経費もさまざま。前もって飼育環境や条件などをしっかりと比較検討し、安心して預けられる施設かどうかを確認しておくことが必要。また老犬ホームはあっても老猫ホームはまだ少数しかないようです。

B. ペットと一緒に暮らせる有料老人ホームへの入所

自分のペットを連れて入居でき、最後の時まで一緒に暮らせる高齢者施設が最近になって少しずつ増えて来ています。しかし入居の条件が色々ある上に、入居費用や予約が必要になってくるため、下調べや準備は早めに行なう必要があります。

C. ペットのための遺言、ペット信託を準備する

ペット信託とは、飼い主にもしもの事があった場合にペットを最期まで飼育するためのお金を用意する仕組みです。あらかじめ財産の一部を信託できる人物もしくは団体と信託契約し、飼い主が飼育できなくなった時に、その財産から飼育費を支払って行くシステムになっています。

飼い主が亡くなって相続が発生した時、事前に信託契約を行ってれば、ペットの飼育費は相続財産と別の扱いになっているため、大切なペットのために確実に財産を残すことができます。

信託を受ける人もしくは団体には、「善管注意義務」(善良な管理者の注意を怠らない)、「忠実義務」(受益者のため忠実に事務にあたる)等を守る義務が発生し、ペットの世話に強制力と監視力をつけることができるのです。(念のために遺言状も作成しておく)

ペット信託について詳しい行政書士や弁護士に相談しておくことをおすすめします。

ペットと共に生きる高齢化社会



そして新型コロナウイルスが・・・

この講座を開講したあたりから新型コロナウイルス感染症が世界的な脅威となっており、2月初旬には私たちの身边にもその影響が及びはじめました。講座内容についてももう少し高齢になったら真剣に考えなくては・・・などと呑気に思っていた私たちにも、思わぬ感染による入院（で済めばいいけど）のリスクに備える必要が迫ってきました。ではその新型コロナウイルス感染についての注意点を見ていきましょう。

動物のコロナウイルス感染で今わかっていること(まとめ)

香港・・・犬
ベルギー、フランス、ドイツ、ロシア・・・猫
スペイン・・・猫、ミンク
アメリカ・・・トラ、猫、ライオン、犬
オランダ、デンマーク・・・ミンク

(国際獣疫事務局(OIE)による)

日本・・・8月3日ペット保険会社が、新型コロナウイルスに感染した飼い主から預かった犬2匹がPCR検査で陽性だったと発表。2匹とも健康状態に異常はなかった。

②現時点でわかっていること

- 人から犬、猫が感染したと考えられる事例は数例報告されている
- 犬、猫から人に感染した事例は報告されていない
- 猫では呼吸器症状や消化器症状があったとの報告がある（犬では確認されていない）
- 新型コロナウイルスに限らず、動物由来感染症の予防のため、動物との過度な接触は控えるとともに、普段から動物に接触する前後で手洗いや手指用アルコールでの消毒を行う。特にペットの体調が悪い場合はできる限り必要な接触を控えましょう。

(参考：厚生労働省動物由来感染症 HP)

③新型コロナウイルスについて犬や猫の飼い主への助言

- ペットが人にうつす可能性は限りなく低い
- 人混みを避けた犬の散歩は問題なし。帰宅時には手洗いをする。
- ペットを守るには飼い主が感染しないことが何より大事！
- 飼い主が感染したら、療養の部屋にはペットを入れず、世話を誰かに頼む。

(参考：東京獣医師会への取材)

④飼い主がいま、やるべきことは？

- もしもの時の預かり先を決めておく。家族？知人？
預かり先が見つからない場合は、かかりつけの動物病院などに相談しましょう。
- 動物との過度な接触を控え、触れた際は手洗いなどの衛生対策を！

人間とペットがいつでも、いつまでも安心して平穏に暮らせる日常、これこそが私たちが望む理想的な人生ではないでしょうか？ウィズ・コロナの日々の中でそんな事を考えさせられています。



ワンコと一緒に 船旅しよう！



いつも犬連れ旅行を楽しんでおられる皆さんでも、まだまだあまり経験されていない旅があります。さてそれは？「フェリーで行く犬と一緒に同室旅行！今回は、「さんふらわあ号・愛犬とおうちからず〜と一緒に」のフェリーと犬室内同宿パックの神戸→大分の旅行レポをお送りしましょう。

乗船前の受け付けで、予防接種の証明書(1年以内)を提示し、乗船時は船内Pから犬用バギーで客室まで移動しました。船のエンジン音や乗り込む車の騒音がぐわんぐわん！リディアは平気？と少し心配になりましたが、平然としていてホッ。

客室内ではフリーにしても良いので、始めは緊張していたリディアも、すぐに寛いで快適に。



夕闇が迫って来た頃、いよいよ出航～！

フェリー会社のスタッフによるライトでのお見送りが旅の気分を否が応でも盛りあげてくれます♪宵闇の中で明石海峡大橋のイルミネーションや漁火がとても綺麗～！案内看板には「星の見える露天風呂」もありました。

部屋は2段ベッドで、犬用水入れとペットシートも装備。外トイレ派のリディアは、乗船前の17時に済ませたきり下船するまで我慢していましたが、何枚ものペットシート必携な小型犬には部屋に持ち込む荷物が最小限で済むのは嬉しいことですね。

この航路、犬はこの部屋の中だけで着岸まで過ごすのですが、大阪→鹿児島航路は、船内ドッグランもあるそうで、次回はそれにも乗ってみたいな。

ベッドに入ってウトウトしながら漁火を見て、また眠りしていたら、アッという間に下船用意のアナウンスに起こされました。

今回は、雄大な久住高原～阿蘇付近の散策が目的の

旅で素晴らしい場所ばかり。でも、それを紹介していると紙面が一杯になってしまうので、省略してここではパックの宿の紹介を。

1日目のお宿は「彩くら」。客室すべてが犬同室宿としては素晴らしすぎるクオリティ♪ウッドデッキのお風呂は勿論、温泉・バスルームには、タオルは勿論、シャンプー、リンス、ドライヤーまで犬用品を常備。食事には犬は部屋留守番で別棟に行くのですが、とても上質なサービスで素晴らしい味と素敵な雰囲気！

ドッグランはウッドチップで脚に優しく、ベンチもあるし清潔で快適そのもの。中にはBBQコーナーもありました。1棟1グループで泊まるので、ゆったりとした時間をたっぷり堪能出来ます。絶対にまた行きたいですね！※



翌日は「湯布院ガーデンホテル」に宿泊。芝生のドッグランが何面もあって、犬同士の社交を楽しまれる方が多く、何度も利用しているリピーターやベテラン揃い。リディアも早速皆と一緒に遊んでいました。お食事はバイキング形式ですが、ステーキ、しゃぶしゃぶ、だご汁その他書ききれない品数のうえ美味しいことこの上なし！

湯布院の名物観光通りは大賑わい。お山と街を犬と一緒に歩いて食べて過ごした時間はあっという間の

ハッピータイム。帰りの船は、私達も 2 度目とあって手慣れたものです。乗船後は、楽しい旅の疲れもあって、あっという間に寝落ちして、気が付けば朝焼けの明石海峡大橋が私達を迎えてくれました。

※ 1 日目に泊まった「彩くら」さんは、今年 7 月の豪雨被害の影響で、残念ながら現在は休館中だそうです。1 日も早い復旧と営業再開が出来ます様お祈り致します。



Foster Parent

フォスターペアレント

カンカンこと勸玄と、サクこと朔太郎が我が家に来てから一年と 3 ヶ月になりました。ずっと保護猫達と保護犬と共に賑やかに暮らしてきていましたが、一昨年から昨年までの 6 か月の間に老衰やら病気やらで 5 匹居た猫



達の 3 匹が相次いで亡くなりあまりに辛くもうこれ以上は猫を増やさないと家族で話していた矢先、ご近所に住む動物愛護協会の友人が兄弟らしき 2 匹

の子猫を保護したと言われました。すぐに娘と見に行かせてもらおうと その可愛さに娘も私も一瞬で魅了され、年齢的にも子猫はもう引き取れないと思いましたが 最後にもう一度！と我が家に迎えることにしました。



普段はなかなか保護活動も出来ずにいますが、ちょうど父が入院した病院の近くだったのでその子達の保護には一緒にいかせてもらった事もあり、また兄弟猫を引き取って育てている友人が、兄弟だとずっと仲良く幸せそうにしてるとい話を聞いていましたがその通り 2 匹は常に一緒に居て 遊んだり舐めあったりと来た日から安心してのびのび過ごしているようです。全身を伸ばしてくっついて寝ている姿を見ると 本当に幸せで、もう一度くらい兄弟、姉妹猫を引き取れるかな、などと思ったりしています。

三条町 1.1

保護犬を 迎えること

みなさんは保護犬ということばにどのようなイメージをお持ちでしょうか？

人馴れしていない野犬などはごく一部で、実際はブリーダーが廃業などで手放した、迷子になったのに探し出してもらえなかった、飼い主の健康上の理由や高齢化などで飼育できなくなり手放された、など家庭犬としての経験を持つ犬も数多くいます。

(特に昨今は高齢者が入院や高齢者施設への入居、死亡などで飼育できなくなるケースが増えて問題となっています)

我が家のシベリアンハスキーは迷子で保護された犬です。そこで、保護犬を飼うことについて参考になればと思い、綴ってみます。

昨年の梅雨の頃、犬を飼いたいと探していたところ、古い友人がSNSでシェアしていた若い小柄なハスキーの女の子に目が留まりました。夫が以前からハスキーを飼いたがっていたことや退職したこと、家を建て直して庭が広がったことなど、一応の条件は整っていたので問い合わせると、この犬は関東の某動物愛護センターから保護団体が引き出して新しい飼い主を探しているとのこと。

先住犬のミニチュアダックスとの相性や老猫



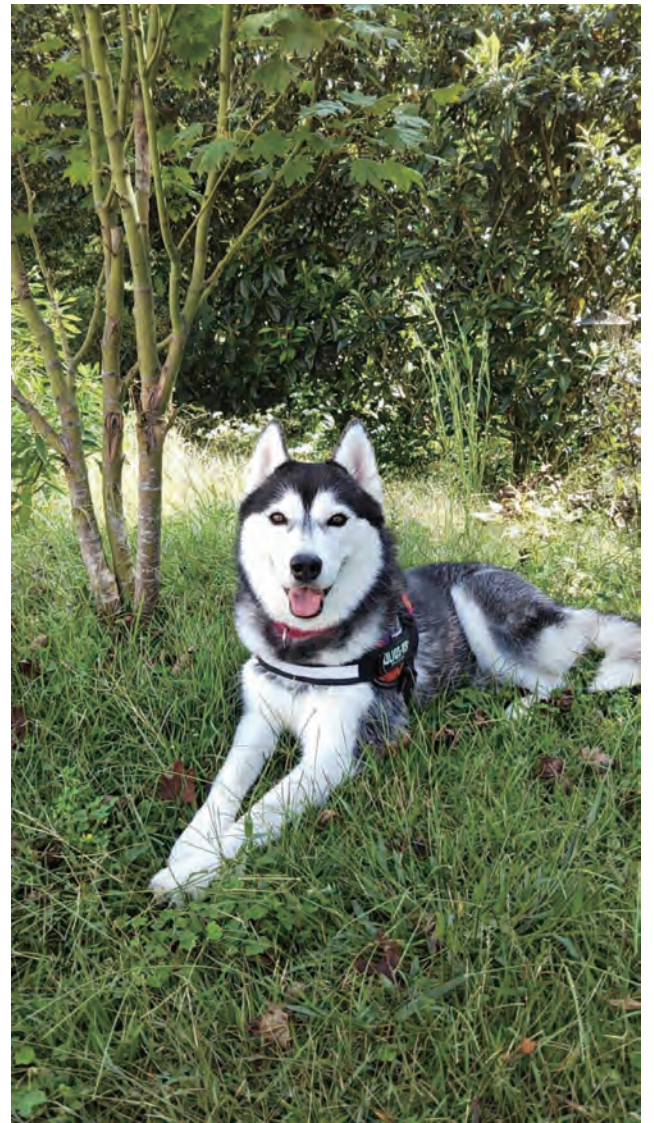
との関係など、慎重に検討し相談して、覚悟を決めて迎え入れることに。

小柄とはいえ若いハスキー、散歩で引っ張る力は相当強く、またケージに入れておくとギャンギャン吠える！

とにかく疲れさせて眠らせようとたっぶりお散歩をして庭でも走らせ、それでも吠える癖はおさまりません。散歩で出会う近所の犬に対しても、まず吠えかかるので近づけられないし、近づけると遊びたがって乱暴に飛びかかろうとするので、相手の犬に嫌がられ・・・

家のダックスとはだんだんに接し方を覚えていきましたが、猫は襲ってしまうので、部屋の中では自由にさせることができません。そこで日中は庭で過ごせるようにしたところ、花壇を荒らす穴を掘る低木の枝は引きちぎる部屋に入りたくて網戸を破る・・・

それでも、人への攻撃性はなく、お散歩で会





う人にはとても穏やかに愛想よく振る舞い、どこを触られても何をされても嫌な顔をしないのは、元々の性格がよかったのでしょうか。なので、できたら褒める、を繰り返していきながら、散歩のマナーや生活のルールを教えていきました。

アイコンタクトはすぐ覚え、おすわりや伏せ、待て、も一応できるようになり、散歩も引っ張らずに歩けるようになりましたが、今でもまだ鳥や猫は狙います。

排泄は時間を決めて庭に出すようにすると、小さく吠えて教えてくれるように。またリードにつないで室内で静かに過ごす時間を増やしたところ、ケージから出して欲しいと吠えることが減り、逆にすすんでケージに入るようになりました。

結局のところ、運命を感じて家族に迎え入れ、試行錯誤しながらしつけをし、だんだんお互いの理解を深めていく、という一連の流れは、どこから犬を迎えようと同じです。

子犬には子犬の難しさがあり、成犬には成犬の難しさがある、でも犬をよく観察し、ひとつ

ひとつの行動の意味を考え、甘やかすのではなく適切に、要求される前に欲求を満たしてやることで安心して暮らせるように環境を整えて、問題を解決していきます。

どんな犬にも、もちろん保護犬にもそれぞれの個性がある、それに合わせて接していくだけです。保護犬は可哀相な子ではなく、新しい飼い主に巡り合えた幸せな犬、なのです。

高齢者が飼育放棄する場合、その犬も高齢であるケースが多く、引き取り先がなかなか見つからないこともあります。



もし、年齢的にもう子犬を飼うのは無理だけれどもまだ犬と暮らしたいと思うならば、そういった年齢の高い保護犬を引き取るという方法もあります。子犬から飼わなくても、適切な愛情をもって接すればちゃんと心は通います。





◎寄付金 合計777,600円 2019年(平成31年)4月~ 2020年(令和2年)7月

寄付金をお寄せ下さった皆さまに厚く御礼申し上げます。どうか、今後も引き続きご協力賜りますよう 宜しくお願いいたします。

月	金額	イニシャル	町名
4	32,000	S動物病院様	岩園町
5	5,000	S様	西宮市
5	8,000	M様	伊勢町
5	3,000	M様	堺市
5	28,000	I様	山芦屋町
5	8,000	K様	宮塚町
5	2,000	I様	朝日ヶ丘町
5	20,000	M様	山芦屋町
5	10,000	M様	芦屋市
5	3,000	I様	芦屋市
5	1,000	I様	芦屋市
5	1,000	I様	芦屋市
5	1,000	I様	芦屋市
6	5,000	H様	緑町
6	30,000	T様	山手町
6	3,000	S様	三条町
6	1,000	Y様	松ノ内町
6	1,000	I様	神戸市
6	3,000	S様	松ノ内町
6	2,000	F様	浜町
6	3,000	U様	高浜町
6	5,000	K様	神戸市
6	1,000	T様	山手町
6	10,000	H様	竹園町

月	金額	イニシャル	町名
6	1,000	K様	浜風町
6	20,000	M様	朝日ヶ丘町
6	3,000	I様	親王塚町
6	3,000	Y様	大原町
6	5,000	N様	山手町
6	8,000	Y様	山手町
6	3,000	N様	精道町
7	10,000	N様	潮見町
7	3,000	O様	神戸市
7	4,000	K様	松原市
7	20,000	T様	西山町
7	5,000	N様	西宮市
7	5,000	匿名様	
7	20,000	I様	竹園町
7	4,000	Y様	神戸市
8	5,000	Y様	大原町
9	10,000	K様	朝日ヶ丘町
10	3,000	O様	呉川町
10	10,000	O様	潮見町
10	20,000	T様	東山町
10	23,600	M様・S様	船戸町・大原町
10	10,000	S様	浜町
11	5,000	S様	西宮市

月	金額	イニシャル	町名
11	10,000	K様	打出小樋町
11	2,000	S様	三条町
11	1,000	Y様	山芦屋町
11	20,000	M様	山芦屋町
11	10,000	K様	神戸市
11	3,000	N様	精道町
12	8,000	Y様	東芦屋町
12	25,000	S動物病院様	岩園町
12	5,000	H様	浜芦屋町
2	10,000	N様	西蔵町
2	10,000	K様	神戸市
3	25,000	T様	西宮市
3	10,000	I様	山芦屋町
3	30,000	N様	津知町
3	30,000	(株)S様	堺市
計	584,600		
令和2年度			
5	7,000	N様	津知町
6	30,000	A様	清水町
6	30,000	I様	山芦屋町
6	5,000	S様	西宮市
6	5,000	H様	浜芦屋町
6	10,000	M様	平田町

月	金額	イニシャル	町名
6	1,000	W様	三条町
6	1,000	Y様	三条町
7	1,000	S様	山手町
7	10,000	H様	竹園町
7	1,000	Y様	東芦屋町
7	8,000	K様	宮塚町
7	3,000	K様	東芦屋町
7	5,000	N様	西宮市
7	1,000	O様	宮川町
7	10,000	Y様	西山町
7	10,000	I様	浜芦屋町
7	3,000	H様	緑町
7	3,000	K様	浜風町
7	8,000	I様	松浜町
7	8,000	O様	月若町
7	5,000	N様	山手町
7	3,000	M様	伊勢町
7	10,000	N様	津知町
7	8,000	I様	神戸市
7	4,000	K様	松原市
7	2,000	Y様	神戸市
7	1,000	F様	加西市
計	193,000		

入会について

会費 1口:1000円/年 2口:2000円/年~
(入会金無し、口数はお持ちで)

●用途について

年会費 動物愛護啓蒙・推進事業費、会報作成・発送費、通信・事務費等
寄付金 動物(主に犬猫)を保護した際の医療・飼養・譲渡までにかかる費用

1 協会事務局(芦屋市役所・経済課)窓口にて

住所・氏名・電話番号をご記入のうえ会費を添えて
動物を愛する全ての方の入会を歓迎致します。

2 郵便振替口座へ会費等を送金

口座番号:00960=8=265605 口座名:芦屋動物愛護協会



芦屋動物愛護協会

Ashiya Society for the Prevention of Cruelty to Animals

事務局:芦屋市役所地域経済振興課内 電話:0797-38-2033

Web: <http://www.ashiyaanimalsociety.com/> Mail: ashiya_animal@hotmail.com